

宮城県立高等技術専門校再編整備基本計画（最終案）の概要

第1章 総論

- ・職業能力開発審議会答申を踏まえ、富県躍進に向けたものづくり人材の育成を図ることを目指し、高等技術専門校の抜本的な再編整備を推進するため、その基本となる計画を策定するもの
- ・計画期間は、令和3年度から令和10年度まで
- ・再編整備の基本方針は、以下のとおり
 - (1) 特色ある高等技術専門校づくりの推進
 - (2) 効率的・効果的な職業訓練の実施（時代のニーズにマッチした訓練）
 - (3) 企業・地域ニーズに対応した訓練の展開
 - (4) 新時代に向けた基盤整備・イメージ向上

第2章 高等技術専門校の配置

- ・若年者の人口減少、効率的・効果的な校運営の観点から、将来を見据え、現5校を廃止し1校に再編
- ・再編後の1校は交通の利便性が最もよい仙台圏域に配置し、場所は、県有地で既存施設の活用も図ることができる「現仙台高等技術専門校」に新設

第3章 訓練内容の充実

- ・富県躍進に向けたものづくり産業の人材育成、高等技術専門校訓練科の定員充足状況や就職状況の推移、民間訓練機関の訓練科の現状等を総合的に勘案し、県として真に必要な訓練科を設定
- ・気仙沼地域において、民間委託によるサテライト訓練を実施

※訓練科の整理案は右記のとおり
(普通課程訓練科14科→11科 定員300人→165人)

第4章 指導体制の充実

- ・指導員の複数免許取得などによる指導範囲の拡充を図るための派遣研修等を計画的に実施し、資質向上により訓練内容を充実
- ・最新技術を利用している民間企業等からの人材派遣を受け、時代のニーズに合致した訓練を実施

第5章 学生支援の充実

- ・遠方のため、通学できなくなる学生を対象に、経済的負担の軽減を目的とした支援制度の創設を検討
- ・就職支援について、出身地域をはじめとした仙台圏域外への就職の確保に向けた方策を検討

第6章 施設・設備の整備

- ・施設の老朽化が著しいことから、新築を前提に早急な整備
- ・公共職業訓練施設としての機能を重視し、指導員、学生の双方にとって使い勝手の良い施設
- ・時代の変化に即した機器等の整備を積極的に推進

第7章 計画の進行管理

- ・現行の訓練科については、訓練ニーズに応じていくため、計画期間中も中断することなく訓練を実施し、他校への一時移設を含めて調整

○今後のスケジュール（予定）

令和3年 3月	再編整備基本計画を議会（常任委員会）報告
8月	大規模事業評価
令和4年	設計プロポーザル
令和5～7年	基本・実施設計
令和8～9年	新築工事
令和10年4月	新設校開校

